



## 巻頭言

### ごあいさつ

常務取締役 植野 正

日新電機グループでは5年間で売上高を1.6倍に拡大することを目指した中長期計画「VISION2020」を昨年4月にスタートさせました。その策定に際し、私たちは創業以来100年を超える歴史の中で培ってきた当社グループのコア技術と市場のダイナミズムとをつなぎ合わせて、これから5年～10年の間にどういった分野で成長することができるかを考え、国内における電力システム改革の進展や新興国においてインフラ投資の拡大が期待される電力エネルギーの分野、東アジアを中心に高水準の設備投資と技術革新が続く半導体やフラットパネルディスプレイ（FPD）製造装置の分野など「6つの成長ドメイン」を選定しました。そしてこれらの分野を中心に先進的な技術・製品を投入するとともに、新しいビジネスモデルを導入することによって事業成長の実現を図る所存です。

この数年間、当社グループは太陽光発電市場においてパワーエレクトロニクス技術を結集したパワーコンディショナの大容量機を順次開発・市場投入し、お客様のニーズにお応えするとともに再生可能エネルギーの普及に貢献してきました。またFPD製造装置市場においても第6世代ガラス基板用イオン注入装置を他社に先駆けて開発・納入開始し、需要が急増している中小型パネルの高精細化などに貢献するとともに、事業規模の拡大を果たしてまいりました。

「VISION2020」では、国内製造業や水処理施設など我々のあらゆるお客様で高まっているエネルギーの安定確保やコストミニマム化のニーズに対応して、これまでの機器販売からシステムソリューションを提供する事業（SPSS：Smart Power Supply Systems）への転換を図るべく、よりコンパクトかつ高機能なハードの開発やこれまでに培ってきた制御技術（ソフト）の高度化を進める計画であります。またFPD製造装置の分野でもイオン注入装置の一層の性能向上に加え、有機ELテレビの増加に伴って需要拡大が期待されるIGZOパネル用装置の製品化などに注力しております。

当社グループの事業の精神の一つである、創業以来の「ベンチャー魂」をもって高い志と常に挑戦し続ける情熱で社会に必要とされる新たな製品・サービスを生み出し、お客様とともに発展を遂げたいとの思いで、これからも研究開発そして事業化に取り組んでまいります。

本号には最近の様々な技術成果を掲載いたしておりますので、是非ご高覧を賜りご意見・ご指導を頂戴できましたら大変に有難く存じます。最後になりましたが、ステークホルダーの皆様の益々のご繁栄をお祈りし、巻頭のご挨拶とさせていただきます。